V　帳票類の作成例

番号	種類	帳票名	ページ
1.1-1	台帳	圃場一覧	128
1.1.2	台帳	施設一覧	128
1.2	台帳	圃場と施設の地図	129
2.1-1	台帳	農場の組織表	130
2.1-2	台帳	責任者の担当する管理点	131
2.2	台帳	方針・目的	131
2.3	台帳	自己点検報告書	132
2.4	台帳	経営者による見直し	132
3.1	台帳	生産計画	133
3.2A	台帳	作業記録	133
3.3	台帳	台帳管理表	134
4.1J	台帳	圃場及び倉庫における交差汚染検討表	135
4.2J	台帳	新規圃場の適性検討	135
4.8J	台帳	リスク評価表(収獲工程)アスパラの例	136
4.8J	台帳	リスク評価表(収穫工程)たまねぎの例	137
4.8J	ルール	収穫・調製・出荷ルール	138
5.1J	台帳	農産物取扱い施設交差汚染検討	139
5.2J	台帳	リスク評価表(調製・出荷工程)アスパラの例	140
7.1.1	台帳	JGAP外部委託契約書	141
9.1.1-1	手順	商品に関する異常・苦情対応	142
9.1.1-2	手順	商品回収手順	142
9.1.2-1	台帳	商品に関する苦情対応記録表	143
9.1.2-2	台帳	商品回収記録	143
9.2.1-1	手順	農場のルール違反への対応	144
9.2.1-2	台帳	農場のルール違反への対応	144
10.1.2	台帳	収穫・出荷台帳	145
11.1	台帳	講習会受講一覧	146
11.7	台帳	作業者への教育訓練一覧	146
11.8	台帳	作業資格一覧	147
12.1	台帳	労働者名簿	148
12.3	台帳	労働者との意見交換記録表	148
13.1	ルール	作業者の衛生管理	149
13.3.1	ルール	トイレ・手洗い設備のルール	150
14.1	台帳	労働安全リスク検討表	151
14.1-1	ルール	農作業機械の注意点	152
14.1-2	ルール	収穫機械の注意点　ながいもの例	153
14.2	ルール	作業時の注意事項	154
14.3	ルール	事故発生時の対応	155
18.1-1	台帳	機械一覧	156
18.2-2	台帳	機械整備記録	156
18.2	台帳	秤一覧・精度確認表	156
20.1	台帳	廃棄物の保管・処理	157
22.1	台帳	希少生物一覧	157
23.1	台帳	種苗台帳	158
23.2	台帳	播種・定植の記録	158

番号	種類	帳票名	ページ
24.2.1	手順	農薬散布の手順	159
24.2.1	手順	農薬散布の手順(掲示用)	160
24.3.1	資料	防除衣・防除具の意味	161
24.3.7	台帳	農薬使用台帳	162
24.4.1	ルール	農薬保管庫の管理	163
24.4.5	台帳	農薬入出庫台帳	164
24.6.1	手順	残留農薬検査サンプリング手順	165
25.1.2	台帳	施肥計画	166
25.1.3	基準	堆肥腐熟度判定表	167
25.1.3	証明書	堆肥生産工程証明書	168
25.2.1	台帳	肥料の使用記録	169
25.3.4	台帳	肥料在庫台帳	169
1.5A	台帳	農場管理マニュアルの作成改訂	170
4.2A	台帳	台帳、手順の見直し	171
5A	手順	食品安全マネジメントシステム	172
5.2A	台帳	HACCPチーム編成	174
5.3A	台帳	商品仕様書	175
5.4-1A	台帳	フローダイアグラム	176
5.4-2A	台帳	フローダイアグラムの検証	177
5.5A	台帳	食品安全危害要因リスク評価表	178
5.7A	台帳	HACCPプラン	182
5.10A	台帳	食品安全マネジメント検証結果	182
6.1A	台帳	食品防御評価	183
6.2A	台帳	食品偽装評価	183
7.2.2A	台帳	仕入先・サービス提供者信頼性評価表	184
7.2.2A	手順	仕入先・サービス提供者の評価・選定	184
9.1.3-1A	台帳	商品回収テスト	185
9.1.3-2A	台帳	商品回収テスト記録	185
11.9A	ルール	来訪される方へ	186
12.5A	契約書	労働条件通知書兼雇用契約書	187
17.7A	台帳	農産物取扱い施設のレイアウト図	188
団1.1	台帳	団体基本情報	189
団1.2.1	台帳	内部監査の責任者の学習	190
団1.3	台帳	団体構成農場一覧	191
団2.1	台帳	団体構成員契約書	192
団2.2	契約書	外部委託先契約書	193
団3.2	台帳	農場の台帳等変更表	194
団4.1.3	台帳	目会わせ監査実施記録	195
団4.2	台帳	内部監査（事務局）	196
団4.3	台帳	内部監査（農場）	196
団4.4	台帳	内部監査（外部委託先）	197
団5.1	台帳	【農場用マニュアル】、【団体事務局用マニュアル】違反措置記録	198
団6.3	台帳	出荷実績	199
団10.1	台帳	団体・農場管理マニュアルの作成、改訂記録	199

圃場一覧表

圃場番号	面積(a)	圃場住所	栽培品目	次作予定作物	土壌のリスク評価				使用する水	
					土壌汚染地域	POPs物質使用歴	ほ場の使用歴（ほ場以外での使用等）	周辺の環境	灌水	防除
1										
2										
3										
4										
5										

〇土壌のリスク評価：土壌汚染地域、POPs物質使用歴、作物栽培以外での使用歴、周辺環境・その他のリスクを評価しリスクが有れば記載し、無ければ×と記載する。

（POPs物質：ヘプタクロル、ディルドリン、DDT等の物質）

〇使用する水の灌水、防除：水道水、地下水、農業用水、河川水等を記載

土壌、水にリスクがある場合の対応

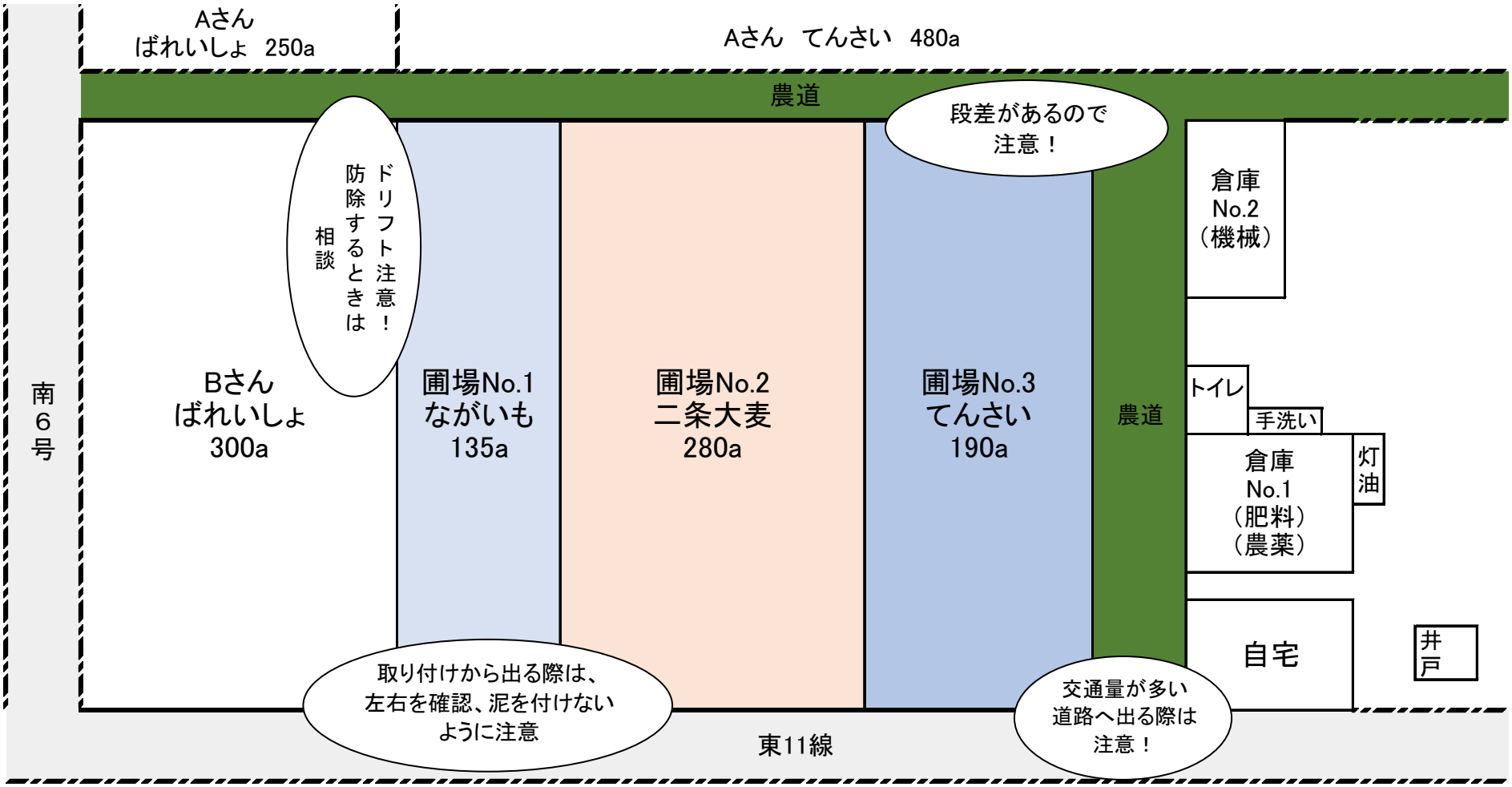
土壌、水の種類	リスクの内容	対応

施設一覧表

番号	名称	用途・保管物	住　所	備　考
1				
2				
3				
4				
5				

圃場と施設の地図（例）

<1.2台帳　圃場と施設の地図>



農場の組織表

項目	氏　名	主な職責	資質向上に関する事項
経営者			
農場責任者		・農場管理の統括	農場管理 JGAPの管理点
商品管理責任者		・商品の種類・規格の管理（品目・品種・栽培方法等） ・梱包・包装の形態や数量・重量を含む出荷仕様 ・商品の表示の管理 ・農産物の安全や品質の確保 ・商品に関する苦情・異常及び商品の回収への対処	商品管理 JGAPの管理点
農産物取扱い責任者		・農産物取扱い施設、機械、器具の衛生管理 ・農産物取扱い施設での従業員の衛生管理 ・農産物を保管する場所の温度管理	農産物取扱い施設に関する 施設、機械、器具、衛生管理 従業員の衛生管理 JGAPの管理点
肥料管理責任者		・肥料等の選択・計画・使用・保管	施肥や土壌の管理 JGAPの管理点
農薬管理責任者		・農薬の選択・計画・使用・保管	農薬の知識 農薬使用基準に関する 最新（過去１年以内）情報 JGAPの管理点
労働安全責任者		・労働安全の確保 （作業中のけが、事故の発生を抑制する業務）	応急手当の方法 （研修会受講） JGAPの管理点
労務管理責任者		・職場環境・福祉・労働条件管理	人権・福祉及び労務管理 JGAPの管理点

責任者の担当する管理点

責任者	担当する管理点
経営者	2.1、2.2、2.4、2.5、1.4、1.5、1.6、2.4.2、11.10、21.3
農場責任者	1.1、1.2、2.3、3.1、3.2、3.3、3.4、4.1(A17.10)、4.2(A17.11)、4.3(A17.11)、7.1.1、7.1.2、7.2.1、8.2.1、9.2.1、9.2.2、11.1、11.7、11.8、13.1、13.2、13.3.1、13.3.2、15.4、16.1.1、16.2、16.3、18.1、18.2、18.6、19.1、19.2、20.1、20.3、21.1、21.2、22.1、22.1.1、22.2、23.1、23.2、23.3、1.3、7.2.2、7.2.3、11.9、16.1.5、16.4、20.2
商品管理責任者	4.8、4.9、4.10、4.11、5.2、5.3、5.3.1(A5.5.1)、5.4、5.5、9.1.1、9.1.2、10.1.1、10.1.2、10.1.3、10.2、11.2、1.3.1、2.2.1、2.4.1、2.4.3、4.4、4.2、5.1、5.2、5.3、5.4、5.5、5.5.1、5.6、5.7、5.8、5.9、5.10、6.1、6.2、8.1、8.3、9.1.3、10.1.1.1、17.9
農産物取扱い責任者	5.1(A17.6)、16.1.2、16.1.3、17.1、17.2、17.4、18.3、18.4、18.5、17.7、17.8、18.1.1、18.7
肥料管理責任者	11.3、15.1、15.2、15.3、25.1.1、25.1.2、25.1.3、15.2.1、25.3.1、25.3.2、25.3.3、25.3.4
農薬管理責任者	11.4、24.1.1、24.1.2、24.1.3、24.1.4、24.2.1、24.2.2、24.2.3、24.2.4、24.3.1、24.3.2、24.3.3、24.3.4、24.3.5、24.3.7、24.4.1、24.4.2、24.4.3、24.4.4、24.4.5、24.5.1、24.5.2、24.6.1、24.6.2、24.3.6、24.3.7.1
労働安全責任者	11.5、14.1、14.2、14.3、14.4、14.5、14.6
労務管理	11.6、12.1、12.2、12.3、12.4、12.5、12.6、12.7、12.8、12.9

<2.2方針・目的>

○○農場の経営方針（例）

　○○農場は、人と環境にやさしい農場を目指します。
　食の安全と安心の確保のため法令遵守は基より、農業生産の各工程において衛生管理を徹底し、安全で安心な農産物を生産し、出荷先からのクレームゼロ（ASIAGAP2.2.1　測定可能な目標）を目指します。
　また、地球環境の保全、労働の安全、人権の尊重、法令の遵守、農場管理の継続的改善を図りながら、農業を通じて社会・地域・人々の健やかな暮らしに貢献します。

平成30年○月○日
○○農場
代表　○○　○○

ＪＧＡＰ　自己点検報告書　　NO.＿＿＿＿＿＿

〈2.3台帳　自己点検報告書〉

点検対象	

点検月日	
点検時間	時　　分～　　時　　分

点検実施者	
点検立会人	

必須	重要	努力	項目番号	不適合内容	改善内容	改善日

〈2.4台帳　経営者による見直し〉

（ＪＧＡＰ）農場管理の仕組みの見直し／（ＡＳＩＡＧＡＰ）ＨＡＣＣＰベースの見直し

作成日	

NO.＿＿＿＿＿＿

必須	重要	努力	項目番号	農場管理の仕組みの見直し／ＨＡＣＣＰベースの見直し

作業内容及び実施時期

品目	播種		移植		防除		除草		収穫					生産計画に関する目標
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績				

栽培計画

圃場			2017						2018					
NO.	圃場名	面積 (a)	品目	品種	10a当たり 収量目標 (kg)	10a当たり 収量実績 (kg)	収量見込 (kg)	収穫実績 (kg)	品目	品種	10a当たり 収量目標 (kg)	10a当たり 収量実績 (kg)	収量見込 (kg)	収穫実績 (kg)
1								0						
2								0						
3								0						
4								0						
5								0						
6								0						
7								0						
8								0						
9								0						
10								0						

作業記録

月　日	作業者名	作業内容	使用した機械

台帳管理表

保管ファイル名	台帳名	備考	保管場所	保管年数

圃場及び倉庫における交差汚染検討表

平成29年6月28日

リスクの重要度の評価基準　○日常的に起こる(リスク高)、△起こるかもしれない(リスク中)、×実際にはありえない(リスク低)

○○農場

	汚染物質(例)	リスクの内容(例)	リスクの頻度	リスクの重要度	対策(例)	JGAP対応番号(例)
種苗	農薬	誤使用			農薬の種子処理時の農薬使用ルールの遵守	23.1、24.1～24.3
		保管農薬からの付着			農薬保管方法の遵守	24.4
		農薬散布した作業者による交差汚染			農薬使用後は着替えや手洗いをする	24.3.2
作物	堆肥	圃場への流入			作物収穫後に堆肥運搬・散布	25.3.3
	農薬	隣接ほ場からのドリフト			ドリフト被害の防止対策の遵守	24.5.1
	肥料	誤使用			適正な使用	25.1～25.2
		保管時の流出			適正な保管	25.3.2
	廃棄物	廃棄物の流入			廃棄物の適切な保管	20.1、20.3
農産物	堆肥	農産物取り扱い施設への流入			作物収穫後に堆肥運搬・散布	25.1.3
	鳥	鳥の農産物取り扱い施設への侵入			鳥よけ用テープの入り口への設置	17.1
包装資材	昆虫	死がい、糞の付着による異物混入			所定の場所でのカバーによる被覆	5.1
	堆肥	人による交差汚染			所定の場所でのカバーによる被覆	5.1、18.3
	農薬					

新規圃場の適性検討

〈4.2J台帳　新規圃場の適性検討〉

	項　目	内　　容	有・無	有の場合の対応
立地	土壌汚染	土壌汚染地域の該当	有・無	作付け不可
		農地以外での利用歴	有・無	以下を土壌分析 ・カドミウム及びその化合物 ・砒素及びその化合物 分析値が基準値を上回る場合は作付け不可
	灌水の水源	従来、活用していな水源を活用する可能性	有・無	マニュアルｖに従い対応
	ほ場の地形	農業機械の走行時等の危険	有・無	危険が有る場合は表示等の対応を図る
	その他特記事項		有・無	
栽培状況	生育障害	以前作付けされていた作物の生育状況に問題が見られる	有・無	
	連作障害	連作障害の可能性	有・無	普及指導員等より適切な対応を相談する
	POPs農薬使用状況	うり科を作付けする場合は特に注意が必要	有・無	
	その他特記事項		有・無	
周辺環境	不法投棄	ほ場及びその周辺の不法投棄	有・無	ほ場への影響を検討し、リスク検討を行う。 リスクの状況に応じて、作付けを行わない対応も検討する。
	産業廃棄物	産業廃棄物、埋め立て地が近くに有る	有・無	
	家畜排泄物	家畜排泄物置き場が近くに有る	有・無	
	工場等	周辺環境に影響を与える工場・産業施設が近くに有る。	有・無	
	水質汚染	周辺に水質汚染につながる施設が有る。	有・無	

【収穫工程管理一覧表】・・・アスパラ

リスク評価の指標

危害の大きさ(重篤性)
３(重)…死亡につながる疾病・事故、法令違反または商品回収
２(中)…入院等が必要な疾病・事故、商品苦情(影響大)
１(軽)…応急手当ですむ事故、商品苦情(局所的)

農場での発生頻度（確率）
３(重)…過去に自分の農場で発生した
２(中)…産地または業界で発生した
１(軽)…発生する可能性が考えられる

リスクの大きさ
危害の大きさ×発生頻度で評価
４点以上または危害の大きさおよび農場での発生頻度が3点の場合は「高」、それ以外は「低」とする

制定日：2017.06.28
商品管理責任者：

工程	使用機器・機械	作業内容	食品安全危害要因	リスク評価			対策・ルール・手順			
				危害の大きさ	発生頻度	リスクの大きさ	内容	実施者	時期	JGAP管理点
①収穫	作業者手袋はさみ	アスパラを手で収穫	手指の汚れによる汚染	3	1	高	健康確認	作業者	始業前	13.1（作業者の健康管理）
							手洗い（流水・石鹸・乾燥） ＊手洗手順を表示	作業者	入場時 用便後	13.2（作業者の衛生）
							手袋の着用	作業者	入場時	13.2（作業者の衛生）
			手指の傷口からの病原菌による汚染	2	1	低	管理者への報告・指導に従う 軽微の場合は手指への絆創膏処置	作業者	入場時	13.1（作業者の健康管理）
			長い爪からの汚染（不潔・農産物を傷つける）	1	1	低	爪を短く切る	作業者	入場時	13.2（作業者の衛生）
			不潔な服装からの異物混入	1	1	低	清潔な服装（農薬使用時の服装は厳禁）	作業者	入場時	13.2（作業者の衛生）
			手袋の素材の安全性欠如	1	1	低	収穫専用の手袋の装着	作業者	入場時	18.7（農産物接触面の安全性）
			手袋からの異物混入・手袋の汚れによる汚染	1	1	低	収穫と調製作業で手袋を分ける 手袋は汚れたら洗浄する 劣化や汚れひどいものは交換	作業者	入場時	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			喫煙による灰・吸殻の混入	1	1	低	所定場所以外圃場内禁煙	作業者	常時	13.2（作業者の衛生）
			はさみによる汚染	1	3	低	汚れたらウエスで拭く 作業後に洗浄・消毒	作業者	作業前後	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			アスパラの擬葉による目のケガ	1	1	低	作業前に注意喚起する	作業者	作業前	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			降雨時の収穫による土砂の付着	1	3	低	清潔なウエスで拭く	作業者		18.3（収穫関連容器・備品の点検）
	カゴ新聞紙	収穫したアスパラをカゴ（プラスチック製に収納	カゴの汚れによる汚染	1	1	低	消毒、洗浄（汚れのひどい場合） アスパラがカゴ内部に触れないように新聞紙を広げる	作業者	作業前後	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			カゴの劣化による異物混入	1	1	低	劣化が激しいものは交換	作業者	作業前後	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			カゴの素材の安全性欠如	1	1	低	選別作業専用のカゴを使用	作業者	作業前後	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			カゴに敷く紙の安全性欠如	1	1	低	ソイインク使用の新聞紙を使用	作業者	始業時	18.7（農産物接触面の安全性）
			カゴに敷く紙の劣化による異物混入	1	1	低	毎朝新しい紙に交換	作業者	始業前	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
			カゴに敷く紙へのカビ付着による汚染	1	1	低	毎朝新しい紙に交換	作業者	始業前	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
	台車	カゴを台車に載せてハウス入口まで運搬する	台車の汚れ	1	1	低	消毒の徹底 洗浄（汚れのひどい場合）	作業者	終了時	18.3（収穫関連容器・備品の点検）
②選果場へ運搬	作業者手袋カゴ	アスパラの入ったカゴを選果場まで運搬	運搬中の異物付着、雨による濡れ	1	1	低	雨の日はカゴにﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄをかける	作業者	運搬前	18.3（収穫関連容器・備品の点検）

作業工程リスク評価表（たまねぎの例 収穫工程～農産物取扱い工程

＜4.8J台帳　リスク評価表（収穫工程）＞
制定日：2017.6.28
〇〇農場

作業工程	機械・輸送車輌・容器等	リスク	リスクの頻度	リスクの重要度	対策
根切り	根切り機	保管時の堆肥の付着			所定の倉庫での保管 作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		作業動線からの堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
	作業者	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		感染症による汚染			作業者のルールの遵守
乾燥		農薬のドリフト被害			ドリフト被害の防止（管理点24.5.1により対応）
収穫	オニオンピッカー	保管時の堆肥の付着			所定の倉庫での保管 作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		作業動線からの堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
	コンテナ	保管時の堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		農薬のドリフト被害			所定の場所でのコンテナの保管
	作業者	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		感染症による汚染			作業者のルール（管理点13.2）の遵守
タッピング 選別	タッパー	保管時の堆肥の付着			所定の倉庫で保管 作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		作業動線からの堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
	コンテナ	保管時の堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
	リフト	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布 作業前の洗浄
	作業者	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		感染症による汚染			作業者のルール（管理点13.2）の遵守
保管	土場	農薬のドリフト被害			所定の場所でのコンテナの保管 （24.5.1により対応）
箱詰め	選別機	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
	リフト	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
	ダンボール	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		異物混入			作業者のルール（管理点13.2）の遵守 封入前に目視で確認
	作業者	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		感染症による汚染			作業者のルール（管理点13.2）の遵守
出荷	リフト	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布 作業前の洗浄
	トラック	堆肥の付着			玉葱輸送トラックで堆肥を輸送しない
	作業者	堆肥の付着			作物収穫終了後に堆肥運搬・散布
		感染症による汚染			作業者のルール（管理点13.2）の遵守

表１　重要度の評価基準

可能性 / 重大さ	日常的に起こる	起こるかもしれない	実際にはあり得ない
死亡・重篤な疾病	○	○	△
製品のリコール・消費者の苦情	○	△	×
ほとんど問題にならない	△	×	×

※評価　○：高いリスク　△：中程度のリスク　×：低いリスク

収穫・調製・出荷ルール（アスパラ）

1. 収穫方法

① 収穫時は専用の手袋を着用する
・手指に傷や汚れはありませんか？
・爪は短く切りましたか？
・手袋は清潔ですか？

② きれいなハサミやカゴを使う
・ハサミは汚れたらウエスで拭きましょう
・カゴに敷く新聞紙は毎朝交換しましょう
・道具は作業後に洗浄・消毒しましょう

2. 選果場へ運搬

① 台車に載せてハウスの入り口まで運ぶ
・台車とカゴの間に新聞紙を敷きます
・台車は汚れたら洗浄・消毒しましょう

② カゴを選果場まで運搬する
・雨の日はカゴにビニールをかける

作業中は禁煙！

雨の日の収穫は土砂汚れに注意！

擬葉が目に刺さらないよう注意！

3. 選別・調製

土足禁止！

手袋装着！

巻き込まれ注意！

① アスパラを選果機に載せる
・アスパラを載せる部分は毎朝掃除しましょう

② 規格ごとにバットに移す
・きれいなバットを使いましょう
・バットに敷く紙は毎朝交換しましょう

使い終わったら清掃

4. 計量・包装・保管

① はかりで重さを計量する
・はかりは毎朝掃除しましょう

② ビニールに封入してテープで留める
・ビニールは清潔なものを使用しましょう

③ マジックで規格を書く
・異物混入が無いように目視で確認しましょう

④ 包装箱に入れる
・清潔な箱を使用しましょう
・異物混入が無いか目視で確認しましょう

⑤ 冷蔵庫で保管
・冷蔵庫は定期的に掃除しましょう

整理・整頓！

農産物取扱い施設交差汚染検討

リスクの重要度の評価基準　〇日常的に起こる（リスク高）、△起こるかもしれない（リスク中）、×実際にはありえない（リスク低）

		汚染物質	リスクの内容	リスクの頻度	リスクの重要度	対策	JGAP対応番号	対応するルール
農産物		人	手の汚れによる汚染			作業前の手洗い		
		手袋	手袋の汚れによる汚染			手袋の定期的な交換		
		作業台	作業台の汚れからの汚染			ほうき、ウエスによる清掃		
			作業台にある用具の混入			用具の位置を決め、作業前、作業後に確認		
		計量器	計量器の汚れ、異物による汚染			計量器の作業前後のウエスによる掃除		
包装資材		人	手の汚れによる汚染			作業前の手洗い		
		手袋	手袋の汚れによる汚染			手袋の定期的な交換		
		ほこり、虫（保管中）	ほこり、異物の混入			ほこり、異物の付かない場所での保管		
機械、設備、輸送車両、容器、備品	カゴ	よごれ、異物	よごれによる汚染、異物混入			収穫前のルール〇〇の励行		
	選別器	堆肥	人による交差汚染			所定の場所でのカバーによる被服		
	作業台	汚れ	作業台の汚れからの汚染			ほうき、ウエスによる清掃		
		異物	作業台にある用具の混入			用具の位置を決め、作業前、作業後に確認		
	計量器	汚れ、異物	計量器の汚れ、異物による汚染			計量器の作業前後のウエスによる掃除		
アレルゲン		大豆	大豆の混入			大豆の収穫、出荷作業動線と分離する		

【アスパラ選別・調製のリスク評価表】

（調製・出荷工程）

A. 危害要因の重大性（健康被害の程度×健康被害の発生頻度） → 【1:低】 【2:中】 【3:高】□

B. 当農場で危害要因が発生する可能性（過去の発生状況、施設や設備機械の老朽化、周辺環境の状況、原材料の状況、作業手順の定着度合、除去・抑制工程等による） → 【1:低】 【2:中】 【3:高】

C. リスクの大きさ（上記のA×B） → 6点以上及びAが3点の場合は【高】とする。それ以外は原則＝【低】とする。

工程		使用する機械・器具等	危害要因		リスク評価				対策・ルール・手順	
					A. 危害要因の重大性	B. 危害要因が発生する可能性	C. リスクの大きさの判定	根拠（リスク高の場合）	実施内容	関連するJGAP管理点
1. 調製・選別作業	共通		食	作業者からの病原微生物による汚染	（例）3	（例）1	（例）高	（例）生鮮野菜で事故が多いため	①健康状態の申告（発熱、嘔吐、黄疸等） ②手洗い手順に従った手洗いの実施 ③食品用手袋の装着 ④農産物取扱い施設の入り口で内履きに履き替える	13.1/13.2
			食	カゴの土砂や新聞紙などの異物混入					土砂汚れは作業開始前に拭き取る	18.3
			食	手袋の破損片による異物混入					使い捨ての食品用手袋（青）の装着 作業終了時に破損確認後廃棄	13.2
	（調製・選別時）アスパラを選別機に載せる	カゴ 新聞紙 アスパラ専用自動選別機 ウエス	食	選別したアスパラの受けトレーの汚れによる汚染					作業後に洗浄（水洗い）する	18.3
			食	選別機に載せる部分の汚れによる汚染					作業後にウエスで拭く	18.1
			食	選別機のカッター部分の汚れによる汚染					作業後にウエスで拭く	18.1
			労	選別機のローラー・カッターによるケガ（手を挟む、手の巻き込まれ）					選別・清掃時は手袋を装着 注意点を掲示する	14.1
	（選別後）規格ごとに青いバットに移す	バット 新聞紙 ウエス	食	バットの汚れによる汚染					汚れたら洗浄する	18.3
			食	バットに敷く紙の安全性欠如					ソイインク使用の新聞紙を使用	18.3
			食	カゴに敷く紙の劣化による異物混入					毎朝新しい紙に交換	18.3
			食	カゴに敷く紙へのカビ付着による汚染					毎朝新しい紙に交換	18.3
2. 計量・包装	共通		食	作業者からの病原微生物による汚染					①健康状態の申告（発熱、嘔吐、黄疸等） ②手洗い手順に従った手洗いの実施 ③食品用手袋の装着 ④農産物取扱い施設の入り口で内履きに履き替える	13.1/13.2
			食	手袋の破損片などの異物混入					使い捨ての食品用手袋（青）の装着 作業終了時に破損確認後廃棄	13.2
			食	作業者の毛髪の混入					帽子の着用 テープで封入する前に目視で確認	13.2
			食	作業机の上の紙くず・ビニルくず・筆記用具などの異物混入					作業開始時に机の上を拭き取る 筆記用具は置き場所を決める テープで封入する前に目視で確認	18.3
	デジタル秤で計量する	デジタル秤 包装用ビニール 輪ゴム マジックテープ 箱	労	デジタル秤の誤測定					法定検査を実施する	18.2
			食	デジタル秤の汚れの付着					使用前に拭き取りする	18.3
	包装用ビニールに封入する		食	包装用ビニールの汚れ					作業机の引き出しに保管 使用する分だけ机の上に置く	18.3
	ビニールの入れ口をテープで留める		食	作業机の上の紙くず・ビニルくず・筆記用具などの異物混入					作業開始時に机の上を拭き取る 筆記用具は置き場所を決める テープで封入する前に目視で確認	18.3
	マジックでビニールに規格を書く		食	作業机の上の紙くず・ビニルくず・筆記用具などの異物混入					作業開始時に机の上を拭き取る 筆記用具は置き場所を決める 異物混入がないか目視で確認	18.3
	包装箱に入れる		食	包装箱の汚れ					高い場所に段ボールに入れて保管する	18.3
			食	作業机の上の紙くず・ビニルくず・筆記用具などの異物混入					作業開始時に机の上を拭き取る 筆記用具は置き場所を決める	18.3
3. 冷蔵・保管	包装箱を冷蔵庫に入れる	冷蔵庫	食	冷蔵庫の汚れの付着					汚れたらウエスで拭きとる	18.3

JGAP 外部委託契約書

○○農園株式会社（以下、甲という）と、△△運輸株式会社（以下、乙という）とは、次の通り JGAP に基づく業務委託について契約書を締結する。

第１条（本契約の目的）
甲は、JGAP（Japan Good Agricultural Practice）　※邦訳（日本の良い農業生産工程管理）に基づき、食品安全・地球環境等に配慮した農業経営を実施する。その中にあって、甲が外部委託する業務についても、JGAP に基づき管理された状態であることが必要となるため、本契約を締結する。

第２条（外部委託する業務）
甲が乙に外部委託する業務は、以下とする。
１）甲での農産物の積み込み作業
２）甲から甲の指定場所までの農産物の運送及び引渡し

第３条（指導内容の遵守）
甲は、乙が遵守すべき事項を別紙「JGAP 外部委託先へのお願い」に定める。乙は、これを遵守する。

第４条（点検・審査）
甲は、第３条の状況について、毎年１回、乙に対して点検を実施することができる。また、JGAP 審査・認証機関の要求がある場合、乙に対して JGAP 審査・認証機関が審査を実施することができる。

第５条（改善要求及び制裁措置）
甲は、業務中に乙が第３条を履行できないことを発見した場合、または、第４条に定める点検・審査で不適合を発見した場合、乙に改善を求めることが出来る。乙が改善要求に従わない場合、甲は乙に対して制裁措置（取引の一時停止・取引停止）をとることが出来る。

第６条（協議）
本契約の変更及び本契約に定めがない事項については、甲乙協議の上、解決にあたる。

本契約締結の証として、本書２通を作成し、甲乙記名押印の上、各１通を保有する。

平成 29 年○○月○○日

甲　組織名：(有）○○農場
　　住所　：北海道北見市＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
　　代表者：代表取締役　○○○○
　　連絡先：電話＊＊＊＊＊＊＊＊

乙　組織名：△△運輸株式会社
　　住所　：北海道北見市＊＊＊＊＊＊＊＊＊
　　代表者：代表取締役社長　△△△△
　　連絡先：電話＊＊＊＊＊＊＊

2017.＊＊.＊＊

△△運輸株式会社　殿

(有)○○農場
代表取締役○○○○

JGAP 外部委託先へのお願い

「JGAP 外部委託契約書」に基づき、以下の点の遵守をお願いいたします。

１．トラック庫内の食品衛生管理
（１）庫内は定期的に清掃してゴミ等が農産物に付着しないように清潔にして下さい。
（２）庫内の床は滑らかな状態とし、農産物を傷つける突起物等がないようにして下さい。
（３）庫内は、農産物が水濡れしないように乾燥した状態として下さい。
（４）庫内に、薬剤や油類等、食品安全に影響するものを混載しないで下さい。

２．運転手の衛生管理
（１）選果場内の出荷場は、外履きで作業されても構いませんが、入口にあるマットで靴裏をブラッシングしてから入室して下さい。
（２）服、ズボン、帽子、手袋等は衛生的なものとし、ポケット等からの異物混入がないようにして下さい。
（３）トイレを使用する際は、手洗い・靴の履換え等、表示されたルールに従って下さい。

３．積み込み時・運転時の注意点
（１）トラックのアイドリングはストップして下さい。
（２）フォークリフト使用時には、タイヤの泥やゴミを除去してから使用して下さい。
（３）損傷の激しいパレットは使用しないで下さい。木製は使用しないで下さい。
（４）発生したゴミはゴミ箱に処理して下さい。
（５）荷崩れしない積み方をして下さい。
（６）雨天の際の、雨漏り、雨の吹き込みによる農産物の水濡れが無いようにして下さい。
（７）積み込みが終了したら、選果場の扉を閉めていって下さい。

４．農産物の卸先での管理
（１）卸先の指示に従って引渡して下さい。
（２）ロット、数量等の納品間違いがないようにして下さい。

５．農産物を損傷させてしまった場合の処置
納品前に、当組合に必ず連絡を入れて指示を仰いで下さい。

６．業務を２次委託する場合の管理
（１）貴社が他の運送業者に 2 次委託する場合も、上記の１～５が遵守できるように指導の徹底をお願いします。

以上

<9.1.1-1手順　商品に関する異常・苦情対応>

商品の異常・苦情対応手順

	項　目	内　容
1	商品の異常・苦情の発生	JA、取引先より連絡
2	商品の異常・苦情の内容記入	受付者が<9.1.2-1台帳　商品に関する苦情対応記録表>に受付者氏名、相手先所属、相手先氏名、相手先電話番号、受付日時、品目、購入日、購入場所・方法、購入量、クレーム・異常の内容を記入する。
3	商品管理責任者へ連絡	以後　商品管理責任者が対応する
4	情報及び影響の把握	状況を把握し、その影響（対顧客、社会、農場）を考慮し、対応を決定する。 商品回収の必要性も含め検討し、必要がある場合は<団8.1手順商品回収の手順>に沿って対応する。 ・回収が必要な事例 　残留農薬、人体に影響のある微生物汚染（カビ）、カビ毒
5	応急対応	影響がある出荷先及び関係機関への連絡・相談・公表等の実施。
6	相手先への対応	代替え品、返金等及びお詫び（口頭、書面等）の実施。 商品回収の必要性がある場合は、商品回収の手順に従う。
7	商品の異常・苦情原因の特定	出荷日、出荷先、ロット番号の特定
		圃場の特定 記録の特定 原因の特定
8	（JGAP） 是正処置 （ASIAGAP） 是正処置とその完了期限の設定	原因から是正処置と、その完了期限を設定する。
9	（ASIAGAP） 是正処置の有効性の確認	是正処置が有効であるか、是正処置完了後確認する。
10	結果の記録	これまで行った対応をまとめ、結果を記録に残す。
11	JGAP審査・認証機関への報告	クレーム対応報告書をJGAP審査・認証機関へ報告。

<9.1.1-2手順　商品回収手順>

商品回収手順

	手　順	内　　容
Ⅰ	回収の実施の判断	クレームの内容により回収の実施を決定。 ・主な回収の要因 　残留農薬、人体に影響のある微生物汚染（カビ）、カビ毒
Ⅱ	出荷先、関係機関との相談	影響がある出荷先及び関係機関（保健所、農林事務所、農協等）並びに審査・認証機関への連絡と相談。
Ⅲ	回収範囲の決定	1　散布実績のある農薬の残留：同様の散布を実施したほ場 2　散布実績の無い農薬の残留：発生ほ場 3　微生物による汚染：微生物の特性により決定 4　カビ毒：同様の防除管理を実施したほ場
Ⅳ	回収の実施	1　出荷先への連絡（文章による返品要請） 　①回収返品期限 　②回収対象（出荷日等） 　③返品方法 　④商品弁償方法 　（状況に応じ、金銭、現物による弁償を決定） 2　一般消費者への連絡（新聞等による広告） 　①品目 　②販売エリア 　③問い合わせ先 3　電話対応 　(1)電話があったら 　　①相手の名前と電話番号を確認し、折り返し電話することを伝える。 　　②いったん電話を切って、折り返して電話する。 　(2)確認事項 　　①名前 　　②名前と電話番号 　　③購入した日（　月　日） 　　④購入先（店舗名） 　　⑤自農場の袋であるかどうか確認する 　　⑥袋がない場合は、後日確認して連絡する事を伝える 　　⑦購入した金額 　　（一袋購入価格、購入数を確認する）
Ⅴ	弁償とお詫びの実施	(1)弁償　Ⅲ－1－4に従い実施 　金額及び代替え品の送信 (2)詫び状の送付 (3)お詫びの粗品の送付
Ⅵ	回収の記録	クレーム受付簿、クレーム報告書に準じる。
Ⅶ	再発防止策	<9.1.1-1手順　商品に関する異常・苦情対応>に準じる。
Ⅷ	審査報告機関への報告	クレーム対応報告書をJGAP審査・認証機関へ報告。

<9.1.2-1台帳　商品に関する苦情対応記録表>

商品に関する異常・苦情対応記録表

	内　　容	備　　考
受付者氏名		
相手先　所属		
相手先　氏名		
相手先　電話番号		
受付日時	年　　月　　日　　時　　分	
品目		
購入日		
購入場所・方法		
購入量		
クレームの内容		
クレームの原因 ・出荷日 ・出荷圃場 ・記録 ・原因		
相談を必要とする関係機関		
関係機関との相談結果		
対応の内容		
対応の内容結果		
再発防止策		
JGAP審査機関への報告 （総合規則違反の場合）		

<9.1.2-2台帳　商品回収記録>

商品回収記録台帳

事案NO.	

回収結果

回収対象					対応結果						
圃場、ロットNO.	回収先 （出荷先）	規格	数量	販売金額	回収日	回収数量	相手先 購入金額	弁償方法			
								弁償金額	代替え品	粗品等	代替品発送日

農場のルール違反対応マニュアル

	項　目	内　容
1	農場のルール違反発生	ルール違反が確認される。
2	農場主へ連絡	以後農場主が対応者を決める。
3	応急対応	影響がある出荷先および関係機関への連絡、相談、公表を行う。
4	原因特定	違反の内容から原因を特定。
5	是正措置	原因から対策を検討、樹立し、是正措置を行う。
6	ルール違反報告書の作成	対応者がルール違反報告書に記載。
7	JGAP審査・認証機関への報告	総合規則に関するルール違反があった場合、JGAP審査・認証機関へ報告を行う。
8	結果の記録	これまで行った対応をまとめ、結果を記録に残す。

農場のルール違反への対応記録表

事案NO.	
発見者	
違反者	
応急対応	
原因	
是正措置	
備考	

JGAP審査・認証機関への報告日:　　年　　月　　日

平成〇〇年　出荷記録台帳　　NO.

NO.	収穫日	収穫時圃場NO	出荷日	出荷先ごとの出荷量(kg)および規格				総出荷量(kg)
1	／							
2	／							
3	／							
4	／							
5	／							
6	／							
7	／							
8	／							
9	／							
10	／							
11	／							
12	／							
13	／							
14	／							
15	／							
16	／							
17	／							
18	／							
19	／							
20	／							

出荷伝票をもとに記入

〈11.1台帳　講習会受講一覧〉

講習会受講一覧表

月日	時間	講習会名	講師	種類
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他
	:　～　:			商品・農薬・肥料・労働労務・JGAP・他

〈11.7台帳　作業者への教育訓練一覧〉

作業者への教育訓練

月日	形式	内容	講師	参加者	種類
					商品・農薬 肥料・労働 労務・JGAP・他
					商品・農薬 肥料・労働 労務・JGAP・他
					商品・農薬 肥料・労働 労務・JGAP・他
					商品・農薬 肥料・労働 労務・JGAP・他
					商品・農薬 肥料・労働 労務・JGAP・他
					商品・農薬 肥料・労働 労務・JGAP・他

作業資格一覧

免許、講習会名	対象となる作業	講習会等の主催者	開催場所	開催日	経費

〈12.1台帳　労働者名簿〉

労働者名簿

氏名	性別	住所	電話番号	生年月日	雇い入れの日
	男・女	〒		年　月　日	平成　年　月　日

〈12.3台帳　労働者との意見交換記録表〉

作業者への教育訓練

月　日	意見交換の種類	意見交換の内容	出席者
	・労働条件 ・労働環境 ・労働安全 ・その他		
	・労働条件 ・労働環境 ・労働安全 ・その他		
	・労働条件 ・労働環境 ・労働安全 ・その他		
	・労働条件 ・労働環境 ・労働安全 ・その他		

作業者の衛生管理に関するルール

＜収穫・出荷・調整作業者の衛生管理＞

１　手洗いの励行

以下の時に手洗いを実施する

・作業を始める前
・トイレ後
・家畜ふん等の汚物や堆肥等にふれた後
・その他必要に応じて

手洗い場の注意事項の掲示

２　所持品は所定の場所に保管する

（引き用具、鍵等）

３　作業着や手袋を清潔に

４　不潔な物や場所にふれない

５　喫煙は専用の場所のみで行う

６　履き物を使い分ける

家畜ふん堆肥の製造・保管場所やトイレでは専用の履き物を使い、野菜を取り扱う場所での履き物と使い分ける

清潔な作業着、手袋を着用しての収穫作業

＜感染症が疑われる作業者について＞

１　次の症状があり、感染症にかかっていると疑われる場合は野菜の可食部に直接ふれる作業を行わない。またその旨、農場責任者へ報告する。

・下痢、おう吐、発熱、黄疸

軽い咳でもマスク着用

２　覆いのない野菜の上で、咳やくしゃみなど、汚染の原因となり得る行動をしないよう努める。

３　以上のルールを来訪者へも周知する。

トイレ・手洗いのルール

１　手洗い設備

(1) トイレ、農産物取り扱い施設の近くに用意し衛生的に管理する。

(2) 衛生的な水が利用できるようにする。

(3) 石鹸、手拭きを用意する。

選果場の前に設置された手洗い場

納屋の横に設置された水道

２　トイレ

(1) 作業員に対し十分な数のトイレを、使用可能な距離に確保、設置する。

(2) 農作業従事者が気持ちよく使える衛生的なトイレにする。

(3) 衛生面に影響する破損があれば補修する。

(4) 汚水がほ場や各施設、水路を汚す可能性が無いか確認する。

トイレと手洗い場

労働安全リスク検討表

作成日29年7月1日
最終改訂日　　月　　日

○リスク評価が必須となる作業

機械	作業	リスク評価	リスクの頻度	リスクの重要度	対策
乗用型トラクター	積み降ろし	転倒・転落・下敷き			安全フレームの装着、適切な方向（前後進）・極力低速で行う 歩み板は十分な幅と強度があるものを使う 運搬車両は駐車ブレーキをかける
	傾斜地での使用	転倒			極力低速で走行する
	段差での使用	転倒			
	ほ場の取り付け口	転倒			
耕うん機、管理機	耕起、中耕	転倒・挟まれ・暴走			急発進・急旋回しない・段差が大きい場所は歩み板を使用する・後退するときは背後に障害物が無いことを確認する
刈払い機	草刈り作業 斜面、法面での使用	転倒・飛散物によるケガ、刈り刃によるケガ			長袖・長ズボン・防護具の着用、肩掛けバンドの装着 飛散する恐れがある障害物はあらかじめ片付ける 機械の調整・修理時はエンジンを切る
脚立	高所作業	転倒・落下・下敷き			平坦な場所で使用する、開き止め金具で必ずロックする ヘルメットを装着する

○危険な機械・器具・作業

機械	危険ポイント	リスク	リスクの頻度	リスクの重要度	対策
トラクター	作業機取り替え、修理	挟まれ、下敷きになる			・取り替え・修理手順の注意
	道路走行時	転倒・落下			・ブレーキの連結ロック
	乗車・降車	落下			・後ろ向きでの乗降 ・握り棒を確実に持つ
	ギア・レバーの引っかかり	転倒・落下			・引っかからない身なり
コンテナ	移動、積み上げ	腕、脚の挟まれ			・2基以上は積み上げない
		コンテナ上からの転落、ぶつかり			・靴底の泥を除去する
タッパー	選別調製 異物除去	巻き込まれ			・機械内部に手を入れる場合は動力スイッチを必ず止める
					・巻き込まれづらい服装を着用する

○危険な場所

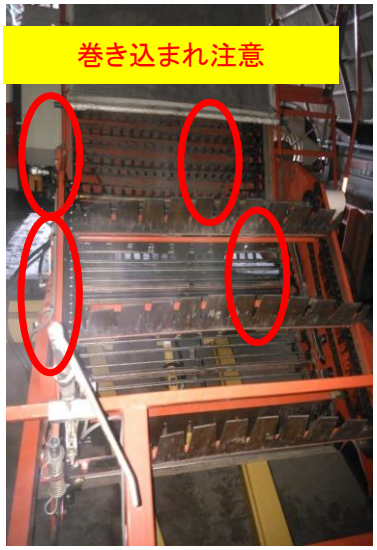
場所	危険ポイント	リスク	リスクの頻度	リスクの重要度	対策

農作業機械の注意点

①ロータリーの注意点

②デガーの注意点

③ピッカーの注意点



④タッパーの注意点

湧別町農業者作成

ながいもの収穫作業　注意点

①巻き込まれ注意

乗車位置と地面が近いので、機械や台への巻き込まれ注意！

②機械の揺れに注意

機械が大きく揺れることがあるので、揺れを感じたらしっかりつかまる。

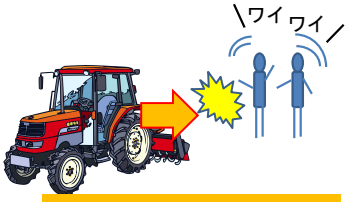
③ハーフコンテナの動きに注意

ハーフコンテナのストッパーが外れる場合があるので注意する。

⑤足元注意

乗り降りする場合は足元に注意。

⑥機械の動きに注意



機械から降りた時は、機械から目を離さないように!！（おしゃべり厳禁！）

平成28年度
網走農業改良普及センター
網走支所作成
「農作業マニュアル（ながいも収穫作業」

注意事項

①掘りあげ担当の人は、乗車位置と地面が近いので、機械の巻き込まれには注意を。
②機械が大きく揺れる場合があるので、揺れを感じたら機械にしっかりつかまる。
③ハーフコンテナのストッパーが外れる場合があるので、常に注意する。
④機械を乗り降りする場合は、足元に注意。
⑤機械から降りた時は、周囲の動きに注意（おしゃべりに夢中になると機械が動いていることに気づかない）。

作業時の注意事項

１　安全を確保するための適切な服装・装備を着用する

２　次の方は作業を控える。

（その旨、農場責任者へ報告する）

・酒気帯びの方
・高熱等の体調不良や病気の方
・資格が必要な作業での無資格者

３　次の方は能力、体調に応じた作業を行う

・薬剤服用中の方
・妊娠中の方
・年少者の方
・高齢者の方

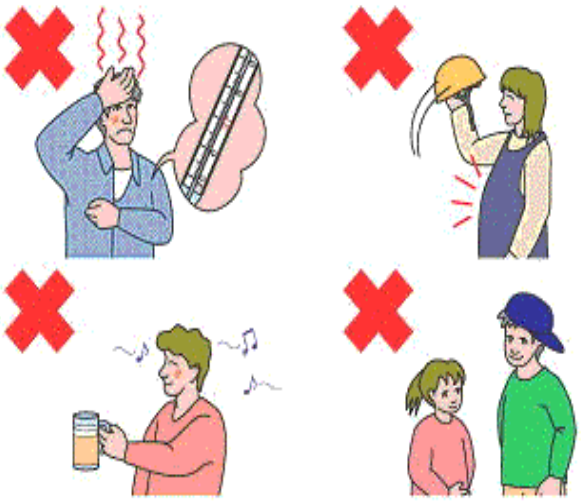


図　農研機構資料より

４　未熟な作業者へ十分な指導を行う

５　１日あたりの作業時間を設定し休憩を取る

事故発生時の対応

事故発生、事故発見

⇩

被害者の安全確保

⇩

連　　絡

①緊急時　　救急車・火災　１１９番
　　警察・事故　　１１０番

②第一連絡先　　〇〇　〇〇
　　自宅：
　　携帯：

・事故発生場所、状況説明
・対応の指示を仰ぐ
（何れも被害者の対応を最優先）

⇩

応急措置　　洗浄・消毒・バンソウコウ　など

警察署　　駐在所

消防署

ＪＡ

内科　　病院　　外科　　医院

＜18.1-1台帳　機械一覧＞

氏名：

機械台帳

機械No.	機械名	製造メーカー	燃料の種類	定期点検の手順	機械の購入・廃棄の履歴等

＜18.1-2台帳　機械一覧＞

氏名：

農作業機・車輌・動力機械　整備記録表　2017年　2月

*農作業機械、秤量器、燃料タンク配管　整備点検、修理時に記入。

日付	機械・秤量器／道具名	機械NO.	点検内容

＜18.2台帳　秤一覧・精度確認表＞

出荷に用いる秤一覧、確認表

テストピースの重量　　g

*年1回以上、テストピースにより秤の程度を確認し、結果を記載する。

秤一覧

NO.	種類
1	
2	
3	

確認日	テストした秤NO.	測定結果	誤差があった場合の対応

〈20.1台帳　廃棄物の保管・処理.〉

廃棄物処理一覧表

廃棄物	保管場所		処理方法	リサイクル実施
	施設(圃場)NO.	施設(圃場)名		
廃プラスチック				
廃油				
農薬空容器				

リサイクル実施欄：処理後リサイクルされる場合は〇を記載

〈22.1台帳　希少生物一覧〉

野生動植物、希少生物一覧表

確認日＿＿＿＿＿＿＿＿　　作成者＿＿＿＿＿＿＿＿

種	カテゴリ(ランク)	増　減	備　考

※カテゴリ(ランク)：環境省「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」におけるカテゴリ(ランク)を記載

増減：観察による結果を記載

<23.1台帳　種苗台帳>

種苗台帳

氏名

*購入時に種苗の説明書、パンフレット等を取り寄せ保管する。
*証明書などに記録項目の記載があれば、証明書を保管することで記載の省略可。

作物名	品種名	生産国	購入量	購入先	種子消毒薬剤名 (使用回数も記述)	備考

<23.2台帳　播種・定植の記録>

播種・定植の記録表

ほ場番号	は種日・定植日	は種・定植の方法	使用機械	種苗ロット

農薬使用の手順

<24.2.1手順　農薬散布の手順>

	項　目	注　意　事　項	番　号
1	防除実施の決定	農薬管理責任者が防除計画、病害虫の発生状況、風量、風向き等からドリフトのリスクを検討し防除の可否を決定する。	24.2.1
2	薬剤の選定	・農薬責任者は以下の点を確認し散布者に指示する。 ①総使用回数 ②使用時期（収穫前日数） ③使用方法、適用作物、適用病害虫、希釈倍率、使用量 ④使用する農薬の最終有効年月	24.2.2
3	使用前点検	①洗浄状況のチェック ②散布機のチェック：ノズル、ホース、接合部 ③散布量のチェック：試運転の実施	24.35
4	準備	・農薬責任者の許可を得て実施する。 ①農薬の有効年月を確認する。 ②所定の農薬準備場所で実施する。 ③混用する場合は、ラベルの指示に従い、適正な剤型の順番で投入する。 ④散布面積から必要量を計算し、散布液が残らないように調整する。 ⑤所定の計量器具を使用し、正確に計量する。 ⑥計量カップ等は使用後、３回以上すすぎ、すすいだ水は散布機のタンクに希釈用の水の一部として戻す。 ・ラベルに記載された使用上の注意を確認し、従う。	24.2.2 24.2.3 24.2.4
5	防護服の着用	・ラベルの記載に従う。 ・マスクに使用回数・期間の指定がある場合には、それに従う。	24.2.3 24.3.1
6	農薬散布	・風量、風向き等に注意しドリフト防止に心掛ける。 ・薬液が残らないように適量を散布する。	24.3.4
7	散布液の洗浄	・所定の場所で散布機の洗浄を行う。 ・散布後、速やかに散布機、ホース、ノズル、接合部及びタンクの順で洗浄する。	24.3.4 24.3.5
8	防除衣、防除具の洗浄	・防除後は、速やかに防除衣、防除具を脱ぎ、交差汚染を防ぐ。 ・防除衣、防除具を洗浄する。 ・防除衣は、着用後に他の服と分けて洗浄し、手袋は外す前に洗う。 ・ゴム長靴は靴底までしっかりと洗う。 ・破れたり痛んだりした防除衣やマスクの汚れたフィルターは新しく替えている。 ・防除衣、防除具は乾かしてから、所定の場所に保管する。	24.3.2 24.3.3
9	在庫台帳への記帳	・農薬在庫台帳へ使用量と在庫量を記帳する。	24.3.7
10	使用記録簿への記帳	・農薬使用記録簿へ所定項目を記帳する。	24.4.5

掲示用

<24.2.1 手順　農薬散布の手順>

農　薬　散　布　の　手　順

1　薬剤散布の決定

●圃場での発生状況、防除計画、農薬使用簿を確認

2　ラベル記載内容の確認

- 収穫前日数、成分カウントを再確認

3　散布機の点検

- 残液のチェック
（洗浄、ノズル・ホース・接合部）
- 散布圧力をチェック

4　農薬の調合

- ラベルの記載内容確認
- 所定の計量器を使用
- 散布量を確認

5　薬剤散布

- ドリフト注意、風向き、風速を確認

6　農薬の使い切りを確認

- 残った場合、所定の場所へ廃棄

7　散布機の洗浄、保管

- タンク、散布機、ホース、
ノズルを３回洗浄

8　農薬使用簿へ記載

- 散布後、速やかに記載

防護衣・防護具のラベルマークとマークの意味

農薬工業会ＨＰより抜粋　一部改変

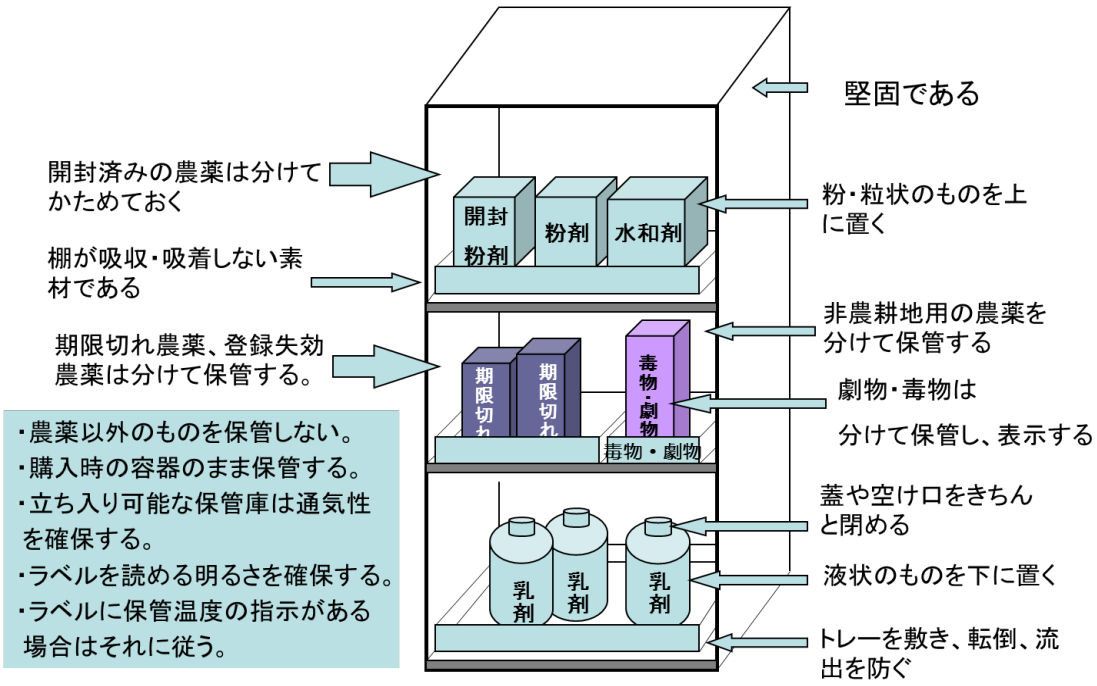
ラベルマーク	マークの種類	使用具選定のポイント		
	マスク着用	国家検定に合格した「防護マスク」　（３Ｍ等）		
	メガネ着用	名称は「保護メガネ」、「安全メガネ」、「防じんメガネ」などＪＩＳ　Ｔ－８１４７（Ｔは医療用器具）表記の有るもの		
	手袋着用	不浸透性のもの。高温時、多湿時はアンダー手袋（薄手の木綿製）の着用がお勧めです。		
		品名	素材	特徴
		ニトリル手袋	ニトリル(ｸﾞﾘｰﾝ)	裏が木綿のパイルでべとつかず、肌ざわりが良い。密着性が高く、超薄手。
		ﾃｯｼｭｸﾞﾛｰﾌﾞ	天然ラテックス	密着性が高く、超薄手。
		ダイロープ	ウレタン(黄)	やわらかく手にフィット。寒くても硬くならない。 耐油性、耐摩耗性に優れる。
	防除衣着用	防水性が有り、着心地が良いもの。		
		品名	素材	特徴
		かっぱ天国	ﾏｲｺﾛﾎﾟｰﾗｽ TM ﾌｨﾙﾑ、不織布	防水性、耐水性に優れ、同時に通気性・透湿性に富みムレが少ない。 軽量で水洗いも可能
		シルキーウェアサイトス	表地　ナイロン 裏地　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ	無孔膜透湿素材。快適な衣服内環境を実現できる。優れた耐水性、ひっかきや破れに強くしなやかな素材。重量６００ｇと軽い。
		サーモメイトベスト	中層　吸湿繊維 他　　ナイロン	水を含ませ着用すると、体温の上昇を抑え、身体の負担を軽くし清涼感が得られる。
		サントス	ゴアテックスに近い新素材	軽くて作業しやすい。衣服内の汗・水蒸気・湿気を逃し、外部からの農薬や雨水を防ぐ。

農 薬 使 用 台 帳

責任者	
散布者	
使用機械	

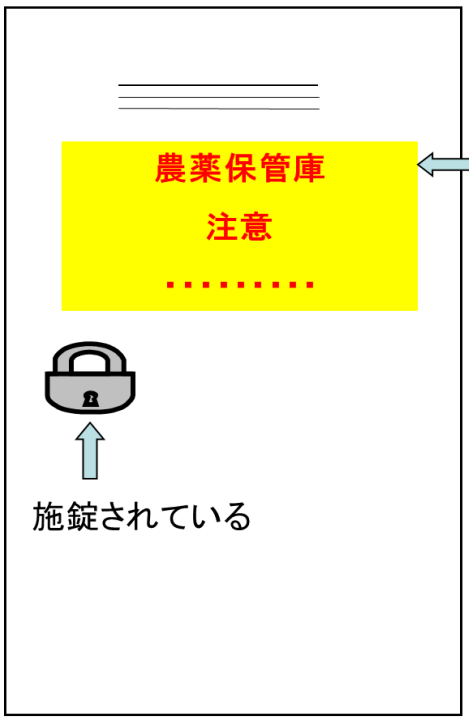
薬剤名	1					2					3				
	散布月日	ほ場NO.	倍率・薬量	散布液量	検証	散布月日	ほ場NO.	倍率・薬量	散布液量	検証	散布月日	ほ場NO.	倍率・薬量	検証	散布液量
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				
	/					/					/				

ルール24.4.1　農薬保管庫の管理　（内部）



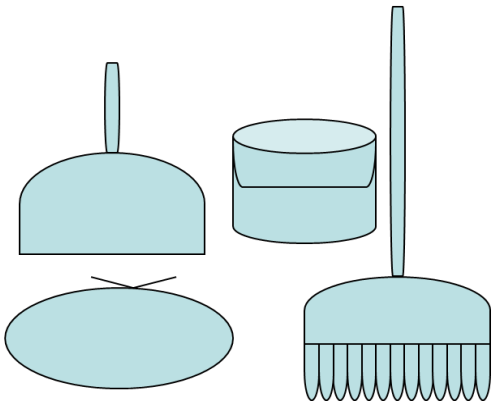
・農薬以外のものを保管しない。
・購入時の容器のまま保管する。
・立ち入り可能な保管庫は通気性を確保する。
・ラベルを読める明るさを確保する。
・ラベルに保管温度の指示がある場合はそれに従う。

ルール24.4.1　農薬保管庫の管理　（外部）



危険性を警告する表示を掲示する

専用の砂、ほうき・ちりとり・ごみ袋等を配置する



農薬在庫台帳

Ｎｏ．	

銘　柄				銘　柄				銘　柄				銘　柄			
月　日	入庫	出庫	在庫	月　日	入庫	出庫	在庫	月　日	入庫	出庫	在庫	月　日	入庫	出庫	在庫
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			
/				/				/				/			

残留農薬検査サンプリングの手順

1　分析対象品目

「地上防除ドリフト対策マニュアル」（日本植物防疫協会）の「タイプ別の近接作物残留リス
よる最も残留リスクの高いものとする。

2　分析作型

最も化学合成農薬の散布回数が多い作型とする。

3　分析時期

分析対象品目、分析作型の収穫

4　分析成分

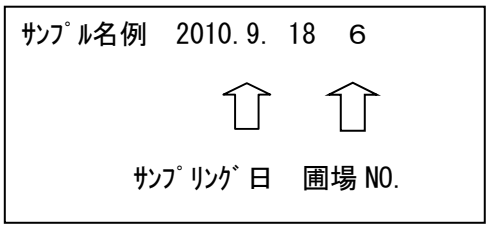
最も散布回数の多い成分または、最も散布時期が収穫時期に近い成分を分析対象とする。

5　サンプリング場所

スプレーヤの回転場所からサンプリングする。

6　分析を依頼する時のサンプル名

サンプリング日時・サンプリングほ場とする。



7　分析依頼機関

ISO17025 認証分析機関とする

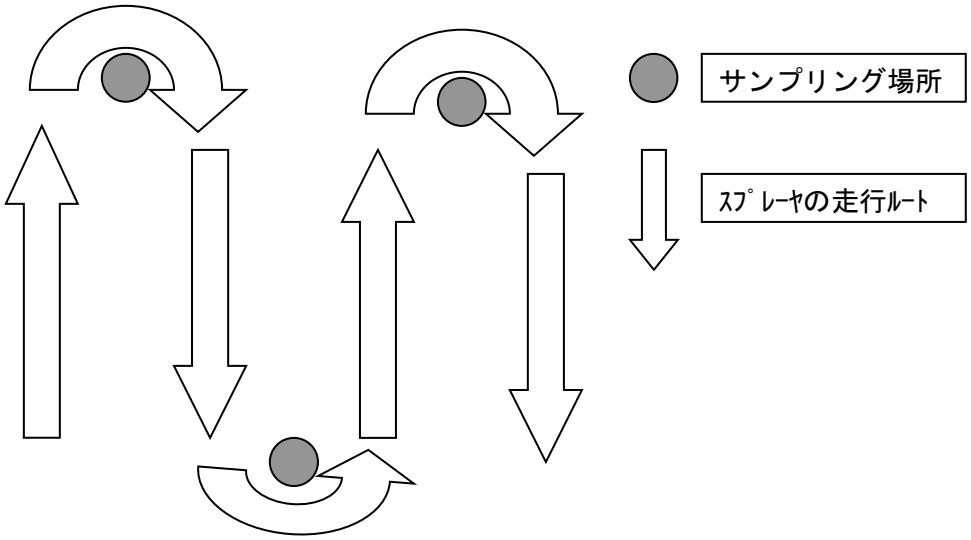


図１　サンプリングの場所

平成〇〇年施肥計画　　〈25.1.2台帳　施肥計画〉

ほ場Ｎｏ．	

	投入日	肥 料 名	投入量	チッソ		リン	カリ	クド		投入金額	施肥方法	保証成分％					単価	１袋当
			（ｋｇ）	ＴＮ	ＮＮ	ＴＰ	ＴＫ	Ｍｇ	Ｎ１kg			ＴＮ	ＮＮ	ＴＰ	ＴＫ	Ｍｇ		ｋｇ
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		

ほ場Ｎｏ．	

	投入日	肥 料 名	投入量	チッソ		リン	カリ	クド		投入金額	施肥方法	保証成分％					単価	１袋当
			（ｋｇ）	ＴＮ	ＮＮ	ＴＰ	ＴＫ	Ｍｇ	Ｎ１kg			ＴＮ	ＮＮ	ＴＰ	ＴＫ	Ｍｇ		ｋｇ
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		

ほ場Ｎｏ．	

	投入日	肥 料 名	投入量	チッソ		リン	カリ	クド		投入金額	施肥方法	保証成分％					単価	１袋当
			（ｋｇ）	ＴＮ	ＮＮ	ＴＰ	ＴＫ	Ｍｇ	Ｎ１kg			ＴＮ	ＮＮ	ＴＰ	ＴＫ	Ｍｇ		ｋｇ
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		

＜25.1.3基準　堆肥腐熟度判定表＞

堆肥腐熟度判定表

項目	内容	点数
色	黄～黄褐色	2
	褐色	5
	黒褐色～黒色	10
形状	現物の形状をとどめる	2
	かなりくずれる	5
	ほとんど認めない	10
臭気	ふん尿臭強い	2
	ふん尿臭弱い	5
	たい肥臭	10
水分	強く握ると指の間からしたたる（70%前後）	2
	強く握ると手のひらにかなりつく（60%前後）	5
	強く握っても手のひらにあまりつかない（50%前後）	10
堆積中の最高温度	50℃以下	2
	50～60℃	10
	60～70℃	15
	70℃以上	20
堆積気温	家畜糞だけ：20日以内	2
	家畜糞だけ：20日～２ヶ月以内	10
	家畜糞だけ：２ヶ月以上	20
	作物収穫残さとの混合物：20日以内	2
	作物収穫残さとの混合物：20日～３ヶ月	10
	作物収穫残さとの混合物：20日～４ヶ月	20
	木質物との混合物：20日以内	2
	木質物との混合物：20～６ヶ月	10
	木質物との混合物：６ヶ月以上	20
切り返し回数	２回以下	2
	３～６回	5
	７回以上	10
強制通気	なし	0
	有り	10
合計点		

使用判定基準：８０点以上

「家畜ふん堆肥の品質評価・利用マニュアル」（農林水産技術会議事務局　農業・生物系特定産業技術研究機構　H16.3月発行）から引用

＜25.1.3証明書　堆肥生産工程証明書＞

平成○○年○月

○○堆肥生産組合
組合長○○　○○

堆肥製造工程証明書

堆肥の製造工程において下記の工程を実施していることを証明します。

記

１　原料及び材料の種類、使用割合（重量又は容量%）、たい積期間等

鶏ふん　６０％
もみ殻　３５％
おがくず　５％

→ 混合 → たい積腐熟（8～10ヶ月、屋外、60～70℃、月４回切り返し） → 篩別 → 袋詰め → 製品

２　原材料等の出所

鶏ふん　○○市○○養鶏場、○○町○○養鶏場

もみ殻　○○農業協同組合

おがくず　○○製材所

＜台帳　25.2.1　肥料の使用記録＞

責任者	

NO.

肥料使用台帳

施用ほ場（面積）	肥料銘柄（N：P：K）	施肥日	作業者名	施肥量	施肥方法	散布機械（機械NO.）

<25.3.4台帳　肥料在庫台帳>

肥料在庫台帳

銘　柄				銘　柄				銘　柄				銘　柄			
月　日	入庫	出庫	在庫	月　日	入庫	出庫	在庫	月　日	入庫	出庫	在庫	月　日	入庫	出庫	在庫
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			
／				／				／				／			